

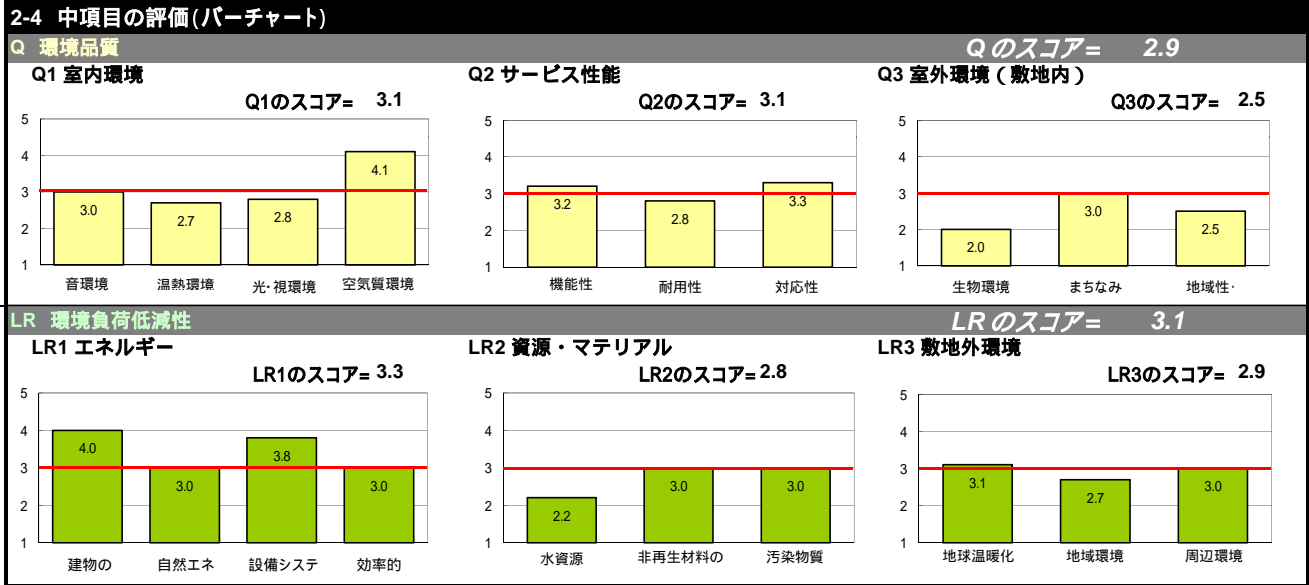
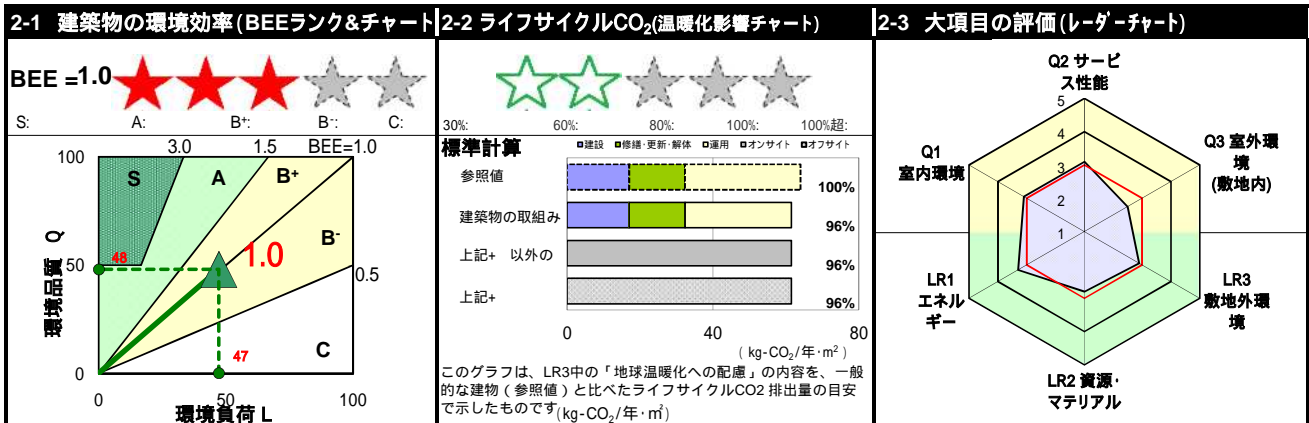
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 榎本機工株式会社本社工場建設工事	階数	地上2階建て
建設地	相模原市緑区町屋一丁目3147番1	構造	S造
用途地域	市街化区域・工業専用地域	平均居住人員	50人
気候区分		年間使用時間	3,000時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2014年5月30日
敷地面積	4,590 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 樹
建築面積	2,228 m <sup>2</sup>	確認日	2014年5月30日
延床面積	2,854 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 樹



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
LED照明の採用により、節電に努めている。	0	
<b>Q1 室内環境</b> 遮音性能T-3を使用している。内装材はFを全面的に採用している。空気取り入れ口は各種排気口と6m以上離れて設置されている。	<b>Q2 サービス性能</b> 1人当たりの執務スペース9㎡以上・事務室の天井高2.7mであり、ゆとりある空間形成に努めている。給水管(硬質塩化ビニル管・スチール鋼管)・給湯管(硬質塩化ビニル管)→C、排水管(硬質塩化ビニル管)→Bで耐用年数の長い管材を選択。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽により、良好な景観を形成している。外構緑化指数22.53%、空地率51.45%、中・高木、ピロティ等の水平投影面積16.43%である。
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =0.58・BEI <sub>m</sub> =0.92である。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGST地材・OAフロアを使用している。ハロゲン化物消火剤の使用をしていない。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> =96%である。隣棟間隔指標Rw=2.82、地表面対策面積率27.15%である。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される